

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 増田 誠宏

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 掛田 勝彦

経理責任者氏名 増田 誠宏

期 間	令和4年7月30日（土）～令和4年7月31日（日）
用 務 先	桜花の郷 ラ・フォーレ庄原 庄原市新庄町 5281-1
用 務	第6回 中山間地域の諸課題解決セミナー 主催：中山間地域の諸課題解決セミナー実行委員会
概要及び所見 （目的、参考 にすべき事 項、提言、活用 策等）	<p>講師 法政大学法学部 土山希美枝 教授</p> <p>セミナー1日目</p> <p>「自治体議会の政策制御」つまり「市民にとって議会とは何者か」</p> <p>議会改革の現在形から地方議会・議員は何をしているのかわからない。市民の議員象はマスコミ報道の議員象であり、どう議員像を更新していくか、どう整理するか。自治体は市民が必要不可欠とする政策・制度を整備するための機構であり、政策制度をよりよく整備することが自治体の目標である。議会や長はそのために種類の異なる権限を与えられている。</p> <p>政策・制度が良い状態であるように制御する、政策主体としての議会が「政策議会」である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良い自治体とは政策を良く整備する自治体</li> <li>・ 政策制度をより良く整備するための正解がない</li> <li>・ 何が必要不可欠な政策制度なのか、課題は無限、資源は有限</li> <li>・ どれが効果の高い政策なのか議論が必要</li> </ul> <p>現在の議会は自律的に政策制度を制御しているように思えない。このことから市民から議会いらぬやねと言われ、議会不要論に繋がっている。</p> <p>残念な一般質問、もったいない一般質問 として以下のような質問がある。</p>

- 公表数字を確認するだけの質問
- 論点を入れすぎてぼけてしまった質問
- 一般質問、代表質問としては個別要求的すぎる質問
- 合理的な根拠や論拠のない批判に基づく質問
- その自治体が関知できない国や他自治体の事柄についての質問
- 自身の政治信条の演説に終始している質問
- 一問一答方式のやりとりを続けるうちに混乱してしまった質問
- 隣の芝生は青い質問
- いつまでも姿が見えない質問
- 執行部への謝辞は必要か？

#### セミナー 2 日目

##### 「質問力研修」

- ・一般質問論点を構造化するために、論点を整理し大きな紙に箇条書きやふせんで書き出しをすることで、素材の棚卸しをして論点を構造化する。
- ・論点は基本的に事実(現場、問題状況)と意見(分析)(主張)で構成される。
- ・多くの事実を知り集めることが必要である。様々な経緯事実を知っている方が有利になる。過去の答弁は重要な事実である。答弁は組織決定されており簡単には揺るがない。
- ・その質問でまちは良くなるのか？ そのために何を問い質すのか？
- ・監査機能を果たすため、今の状況の問題は必ず確認し問題点の共有をしなければならない。監査機能のみだけでも良いが、政策提案機能のみの一般質問はない。
- ・事実を豊かにするためには、困りごとの現場の情報をしっかり集めることが重要である。困っている市民の現場や実際に対応する行政の現場がどのような認識をしているか聞かせてもらうのに徹する。
- ・Google や Wikipedia による情報収集の問題点。

##### 【所見】

「うまくいかなかった一般質問」のグループディスカッションでは、他の参加者の一般質問に対する気づきを指摘することによって、自分自身の一般質問に対することについても気がつくことがあった。今後の一般質問に対して、とても参考になるグループディスカッションであった。